

1 単元名 ものがたりをよんで、もっとしりたいことー『あいしているから』ー

2 単元について

単元 目標	○物語を読み、登場人物の心情を読み取ることができる。 ○自分たちで考えた問いについて、本文を根拠に考えることができる。
----------	--

1年生が国語の授業で物語を読む際に、身に付けさせたいことは「今、何を考えればよいのかがわかる。」「どうやって考えればよいのかがわかる。」「考えたことを、どうやって伝えるかがわかる。」の3点と捉えている。本校の1年生は、4月より毎朝のサークル対話を行っている。円を作った状態で座り、自分の経験や興味のあることについて話す活動である。本学級では、発言が終わると、数人から質問を受ける時間を取っている。このことは、上述の「考えたことを、どうやって伝えるかがわかる。」と関係している。質問を受けた子は、自分の話した内容をその場で振り返り、わかりやすく伝える方法を考える必要がある。

本単元では特に登場人物の会話や心情の変化に焦点を当てて進めていきたい。題名にもなっている「あいしているから」という言葉が本文中に2回出てくる。1回目と2回目では、その時のモールくんの心情が大きく異なる。そういった心情の変化やなぜ変化したのかについて、子どもたちと考えていきたい。

授業の中で扱う問いについては、子どもたちの中から出てきたものとする。これまでの物語では、音読・劇化・心情の読み取り・問題を考えることを行ってきた。「読む」ことを考えた場合、教師からの発問等もさることながら、子ども自身が考えた問いについて話し合っていく過程も、国語の授業において重要だと考えている。その際には、「どうやって考えればよいのかがわかる」こと、つまり「根拠をもって考える」こともねらいとする。根拠をもつことは、2年生以降の物語読解においても重要な視点である。1年生段階から意識付けさせたい。

まずは、自分で問題を作ることができたという達成感を味わうことが重要である。その中で、教師からの発問も交えながら、徐々に登場人物の心情に迫るような問題を考えられるようになれることも期待している。

3 学習指導計画（6時間目／全8時間）

- (1) 全文を読み、初発の感想をノートに書く。(1時間)
- (2) 初発の感想を共有する。(1時間)
- (3) 登場人物に関することで、不思議に思ったことやもっと知りたいと思ったこと、それに対する自分の考えをノートに書く。(1時間)
- (4) みんなで話し合う問いを選ぶ。(1時間)
- (5) 選んだ問いについて話し合う。(本時2／3時間)
- (6) 学習のまとめを、ノートに書く。(1時間)

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

問題について考えを交流することで、登場人物の心情について自分の読みをもつことができる。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 本時で話し合う問いと、自分の考えを確認する。	○ 前時まで、話し合う問いを決め、各自の考えを書いておく。
2 問題について話し合う。	○ 授業者が司会、板書記録を行う。
3 話し合った後の自分の考えをノートに書く。	○ 印象に残った友達の意見を書くようにする。

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

- ・1年生が物語を読んで問いを考えることで、読み深めることができたか。